

No. 135 2021.11.1 発行

南みのわ

9月定例会

議会だより

躍動する若い力！



インターハイ出場の高校生
(きらきら村の仲間たち インタビュー)

一般質問 動画配信中

QRコードから各議員の
一般質問動画が観られます。



インターネット村ホームページ▶
村議会▶本会議録画中継▶定例会

主な内容

- 過去最大の決算に：9月定例会…………… P2～P5
- 一般質問 …………… P6～P13
- 一般質問のその後・村民の声を聴く会予告…………… P14
- 南部小視察、教育関係者との懇談会 …………… P15
- きらきら村の仲間たち …………… P16～P17
- 議会だよりモニターの声 …………… P18



対策定額給付金等一



適任。陳情が1件提出され、不採択となりました。

令和2年度決算（千の位以下切り捨て表記）

別表1

会 計 別		歳 入	歳 出	差引残額
一 般 会 計		85億8513万円	80億7205万円	5億1308万円
介護保険事業特別会計		10億7074万円	10億2925万円	4148万円
国民健康保険事業特別会計		11億1504万円	11億1002万円	502万円
後期高齢者医療特別会計		1億4761万円	1億4487万円	274万円
会 計 別		収 入	支 出	
水道事業会計	収 益 的	2億8439万円	2億5782万円	
	資 本 的	1412万円	6275万円	
下水道事業会計	収 益 的	6億 934万円	5億9321万円	
	資 本 的	3億1948万円	4億7633万円	



定例会最終日の動画をこちらからご覧いただけます。

ちょっと

※ 決算特別委員会での議員から村への質問・要望を紹介

- ・Q. コロナの影響が続く中で、扶助費が増えることが予想される。今後の取り組みは？
A. 保健師を増やすべきと考えている。社会福祉士の募集も行っている。
- ・Q. 伊那本線バス、まっくんバス運行事業継続の今後の考えは。
A. 費用対効果を考えると支出が多いが、交通弱者のためには続けていくべき事業。ぐるっとタクシー、福祉移送サービスなどのドアツードアヘシフトしていくことも考えたい。
- ・Q. 特産品の販路拡大は？
A. 首都圏への移動が可能になれば、地域おこし協力隊の協力も得て販路開拓や宣伝に取り組む。ふるさと納税返礼品としても充実させていく。
- ・要望：コロナの影響で扶助費の増加が予想される。健康寿命の延伸に介護予防・健康づくりなどの取り組み強化を。
- ・要望：村には訪問看護してくれる医師が少ない。介護保険を使ったサービスをもっと周知して。

す。
た事業の効果や成果などについても審査します。
また、お金が使われた事業の効果や成果などについても審査します。
決算特別委員会は、昨年の4月から今年の3月までの1年間に使われた村のお金について、無駄のない使い方をしていないか、9月定例会期間中の2日間をかけて全議員で審査します。

「決算特別委員会」
って？
(2ページの注釈)



議
会
の
こ
と
ば

過去最大の決算に — 新型コロナ

9月定例会は9月1日から9月17日までの日程で開かれました。

議会提案3議案、村提案21議案はすべて原案のとおり可決、認定、同意。諮問1件は

	件名（議案名はわかりやすく簡略表記しています）	賛 成	反 対	議決結果
議 会 提 案 関 係	村議会会議規則の一部改正 …………… 議会への欠席事由の整備等	9	0	可決
	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書 ●提出に賛成：三澤 76年前住民を巻き込む地上戦が行われた沖縄戦。約20万人もの犠牲者の血が流された。遺骨が残る土砂を埋め立てに使うことは許されない。 ●提出に反対：丸山 沖縄防衛局長は『遺骨の混入している土砂を資材として使うことがあってはならない。』とコメントしていることから、意見書提出までは必要ないと考える。	採択6	不採択3 丸山 都志 唐澤	採択 意見書の提出 (5号に掲載)
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書	採択9	不採択0	採択 意見書の提出 (5号に掲載)
条 例 関 係	公共物管理条例の一部改正 …………… 河川法の一部改正に伴うもの	9	0	可決
	手数料徴収条例の一部改正 …………… マイナンバー法の一部改正に伴うもの	9	0	可決
	個人情報保護条例の一部改正 …………… マイナンバー法の一部改正に伴うもの	9	0	可決
	準用河川管理条例の一部改正 …………… 河川法の一部改正に伴うもの	9	0	可決
	個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正 …………… マイナンバー法の一部改正に伴うもの	9	0	可決
	特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正 …………… 村長の給与月額を時限的に引き下げる特例を規定するもの	9	0	可決
令 和 2 年 度 決 算 関 係 (別 表 1)	一般会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	9	0	認定
	水道事業会計決算の認定	9	0	認定
	下水道事業会計決算の認定	9	0	認定
令 和 3 年 度 補 正 予 算 関 係 (別 表 2)	一般会計補正予算（第6号）	9	0	可決
	一般会計補正予算（第7号）	9	0	可決
	介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	9	0	可決
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9	0	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9	0	可決
	水道事業会計補正予算（第3号）	9	0	可決
	下水道事業会計補正予算（第3号）	9	0	可決

	件名（議案名はわかりやすく簡略表記しています）	賛 成	反 対	議決結果
その他	教育委員会委員の任命について …………… 田中博美氏の新任	9	0	同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任について …………… 新村典久委員・三澤聡委員の再任、田中一裕氏の新任	9	0	同意
諮問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて …………… 高橋紀美代氏・原雅章氏の再任	異議なし 適任		
陳情	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情 …………… 総務経済委員会の審査結果は不採択 ●陳情に賛成：三澤 「建白書」から県民投票、国政選挙で何度も民意を示した辺野古新基地は強権政治で強行されてきた。建設中止と公正解決を求める。 ●陳情に賛成：山崎 沖縄県の問題ではなく、日本全体の問題として考えるべきだ。 ●陳情に賛成：加藤 沖縄県民の7割が反対の民意を無視して強行建設、軟弱地盤発覚、埋め立て土砂問題、建設中止を。基地問題国民的議論を広めよう。 ●陳情に反対：丸山 沖縄の民意を理解はする。しかし、ミサイルの発射や我が国への領海進入に対して、辺野古基地建設は急ぐべき国防上必要な移設である。	採択4 山崎 登内 加藤 三澤	不採択5	不採択

令和3年度補正予算（千の位以下切り捨て表記）

別表2

会 計 別		補 正 額	補正後の総額
一	般 会 計（第6号）	3億1236万円	68億4716万円
一	般 会 計（第7号）	2242万円	68億6958万円
	介護保険事業特別会計（第1号）	4654万円	10億9424万円
	国民健康保険事業特別会計（第1号）	1165万円	12億5765万円
	後期高齢者医療特別会計（第1号）	74万円	1億4965万円
水道事業会計（第3号）	収益的収入	増減なし	2億8434万円
	収益的支出	480万円	2億7476万円
下水道事業会計（第3号）	収益的収入	増減なし	5億9955万円
	収益的支出	15万円	5億9977万円

令和3年第3回臨時会（7月19日）

件名（議案名はわかりやすく簡略表記しています）	賛 成	反 対	議決結果
令和3年度一般会計補正予算(第5号) …………… 補正額1730万円 補正後の総額65億3479万円	9	0	可決

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた。糸満市摩文仁の平和記念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられた24万1593名の氏名が刻銘されている。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、1972年の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し、戦没者の霊を慰めるために、自然公園法に基づき、戦跡としては我が国唯一の「沖縄戦跡国定公園」として指定されている。同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた県民や命を落とされた兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の収骨が行われている。

さきの大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋立てに使用することは人道上許されない。

よって、下記の事項が速やかに実現されることを強く要請する。

記

- 1 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。
- 2 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情を鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

長野県上伊那郡南箕輪村議会
議長 百瀬輝和

(宛先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、
防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、増嵩が見込まれる社会保障等への財政需要の対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、国庫補助金によって継続すること。市町村負担は廃止すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。負担調整措置をやめたときに、急激に上がることがないように緩和措置等を検討すること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、緊急経済対策が必要な状況が続く間は特例措置を維持すること。ただし、税縮小の先例にはしない。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

長野県上伊那郡南箕輪村議会
議長 百瀬輝和

(宛先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、
経済再生担当大臣

県道中井沢踏切

西側カーブ解消は



都志 今朝一



道路拡幅を県に強く要望する（村長）

問 県道489号線

村長 踏切付近は道

（伊那・北殿線）中井沢
踏切西側カーブ解消の
県への要望は。

路幅員も狭く、車のす
れ違いが困難で見通し
も悪い。通学路にも



県道中井沢踏切カーブ

予算に計上したいと考
えている。

問 土砂災害警戒区

域・天竜川浸水想定区
域の避難指示発令の住
民への周知は。

村長 事前の啓発は、

問 村の個別避難計
画作成の進捗状況はど
ようであるか。

村長 各地区の自主

防災会を通じて避難行
動要支援者名簿を作成
し、村・社協・民生委
員・自主防で管理して
おり、災害時に活用可
能。今年度は策定優先
度の基準を設け、個別
避難計画対象者を絞り
込む。財政負担が大き
な事業であり、次年度

心・安全のために気を
引き締めていく。

問 村道1009号

線（北殿中川原団地東）
のカーブ舗装改修は。

村長 国道153号

伊那バイパス建設に伴
い、H24年度に村道拡
幅工事で村が実施。カ
ラー舗装にはガラス材
を骨材として使用して
おり、メリット、デメ
リット両面ある。当時
は地元住民らの強い要
望もありガラス入りカ
ラー舗装にした。宅地
化も進んでおり現場の
状況を確認して対応を
考えていく。

問 通学路安全対策

のための緊急点検の結
果はどのようなであつ
たか。

教育長 8月18日に

通学路危険箇所合同点
検を実施。重点箇所30
か所を現地確認した。

10月の通学路安全推進
協議会で、対策方針を
決定する予定。

問 教職員の働き方

改革について、夏休
みに設けた学校閉庁日の
教職員のようすはどの
ようであつたか。

教育長 3校とも、

学校リフレッシュウイ
ークとして学校を閉じ
た。多くの職員が、業
務から離れた時間を
しっかりと持つことがで
きたと受け止めている。

問 閉庁日での問題

点は何か。

教育長 閉庁日でも

校内工事の内容によつ
ては校長、教頭、教職員
の立ち合いが必要な状
況もある。学校閉庁日
の平日は教育委員会、

以外には教育長、教育次

長、学校教育係長が対
応している。本年度は
問題点はなかった。



加藤 泰久

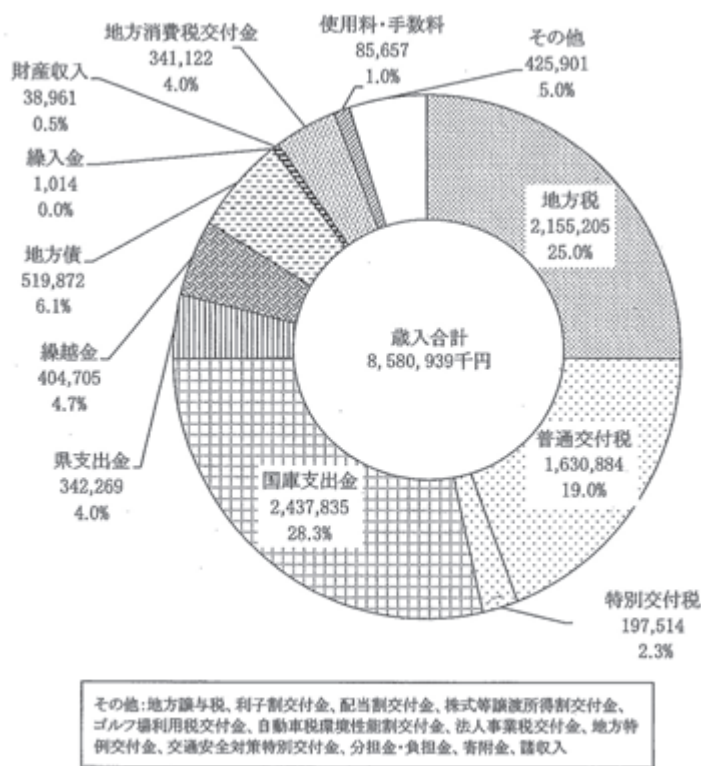
コロナ禍における村財政は



知恵を出し合い乗り切る（村長）

令和2年度決算の概要

【地方財政状況調査より】



四捨五入の関係で構成比合計が100%にならない場合があります。

問 コロナ禍における歳入減は。

村長 R2年度の大

きな減収は法人税が8400万円38・2%減、入湯税が1500万円37・7%減、たばこ税が700万円、6・4%減となっている。R3年度もコロナの影響が想定される中、慎重な予算を立てていく。

問 コロナ対応に費

やした額は。 **村長** コロナウイルス感染症対策関連事業費はR2年度は、国、県からの補助金、交付金を活用して実施した。財源は国庫出資金19億1600万円、県出資金3400万円、村一般財源400万円となっている。事業の大きな順から、1人10万円の特別給付金が15億6

800万円。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業2億9700万円。その内訳として大きな順から、2000円の商品券配布事業、開発公社への協力金、制度資金保証料、学校給食費支援、新生児特別給付事業などが1000万円を超える事業。その他に小中学校児童生徒へのタブ

レット端末の整備に7300万円。R3年度、ワクチン接種に9000万円が計上された。

問 今後の事業計画への影響は。

村長 悪い影響が多い。普通歳入が減少した場合、各自治体の財政事情に対する自主財源の不足分を補うために普通交付税が交付され、経常的支出に対しては大きな影響はない。新たに計画した事業を進めるにあたっては、基本的には国の交付金や交付税の対象となる起債を積極的に活用することを前提としている。場合によっては基金を取り崩す必要も生じてくる。中長期的目線で健全財政の観点からも影響は大きい。

村長 村では毎年3

問 予定される大型事業は。

か年計画により大型事業や事業が偏らないように配慮して進めている。現在の3か年計画で予定している大型事業の主なものは、学校給食センターの建設事業8億7200万円、南箕輪小学校北校舎改修事業6900万円、中学校トイレ改修事業6000万円、村道3008号（北原）道路拡幅工事8000万円、村道中込線歩道工事7000万円、村道10号線舗装修繕500万円。他に南部小学校放課後児童クラブ施設改修、大芝グラウンドバックネット改修。新たにR4年度以後の3か年計画では村の財政状況や、国、県の交付金や起債など鑑みながら計画していく。

若年層への接種促進対策は



登内 瑞貴



要な役員の精査を進めている。また、村としても依頼事項の精査を進めていく。

情報発信ツールとしてSNSを導入する。また、防災アプリの検討も進めていく。

リスクとベネフィットの理解が重要（村長）

問 若年層への接種促進対策は。

村長 広報は、メディア等で報道されており十分と考えている。接種環境は、曜日・時間帯を学生向けに調整した。未成年者のワクチン接種は、本人と保護者にリスクとベネフィットを十分理解いただくことが重要。

問 ブースター接種の予定は。

村長 現段階で国等から正式な情報提供はない。状況を注視し対応していく。

学校の新型コロナウイルス感染症対策

問 リモート授業の実施体制の現状は。

教育長 9月から端末の持ち帰りを実施している。リモート授業は、ICT機器の活用

問 自治会加入の状況と加入促進対策は。

村長 R3年4月時点でアパートを含めた加入率は66%、一軒家世帯で88%。R2年度転入の一軒家世帯の加入率は80%と年々微減傾向。

対策として、転入者をターゲットとしたパンフレット制作を進めている。また加入後の納得感を高めていき

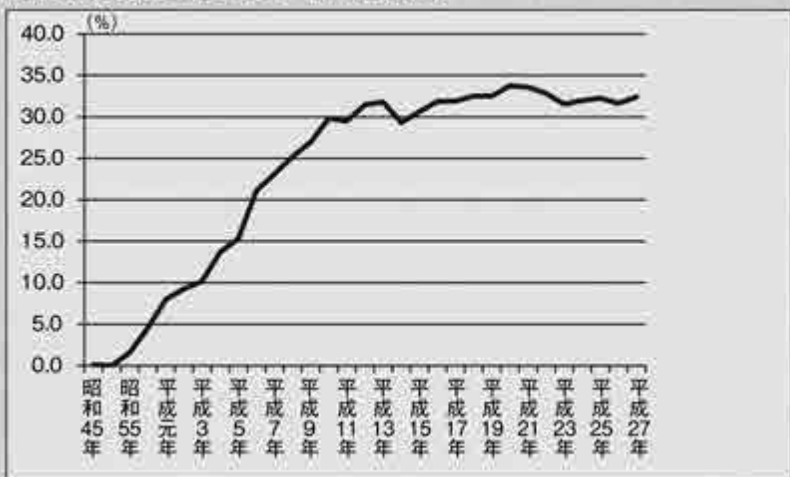
問 臨時休校等における学童クラブの開

村長 原則として開所する。体制は、教育委員会と連携し構築していく。

問 役員のなり手不足対策や業務負担軽減

について。

組末加入世帯の割合(各年4月1日現在)



※資料は住民福祉課

防災・減災対策

問 防災無線・メール以外の情報提供ツールの検討は。

村長 当初予定通り、

道路整備

問 道路拡幅時の近隣住民の安全確保は。

村長 地元住民から安全確保についての要望を聞き取り、必要に応じて速度抑制の対策を実施していく。道路改良については、メリット・デメリットの説明をていねいに行っていく。



ワクチン優先接種の 接種率と勧奨は



唐澤 由江

正確な把握は難しいが想定より早く進んだ（村長）

問 当初コロナワクチン接種率が、他自治体より低かったのはなぜか。優先接種とした業種の接種率の早期把握と勧奨は。

村長 本村は県下一若い村であり、7月末までに多くの高齢者に接種した自治体と比べると接種率は低くなる。優先接種対象者の接種率把握は難しいが、村全体の接種率から、大多数の希望者が接種している」と推測できる。

問 夏休み中、放課後児童クラブの密を避ける対策は。

村長 南小では低学年100人をこども館

で、高学年40人は小学校の家庭科室と図工室を利用した。南部小では体育館前の広いスペースに机を配置して勉強や食事ができるようにして、密にならないよう配慮した。現状のスペースでは足りなくなる今後を見据えて、改修等検討をしていく。

問 コロナ禍で子どもの肥満・瘦身が増えた。本村の学校保健統計調査の傾向は。

教育長 肥満は全国同様、小中学校で増加傾向。瘦身は、中学校で増加傾向。コロナ禍が要因かは難しい。パソコン・スマートフォン利用など、子どもたちを取り巻く環境が変化してきており、学校保健委員会や父親母親委員会、家庭向けに通信等の発信をしている。

問 土砂災害が深刻だ。7月13日南部小の浸水、8月14日の大雨による避難指示で、15年前の教訓をどう生かすか。

村長 コロナの影響で延期になっているが、今年の防災訓練はH18年7月の状況を想定した内容で行う予定だった。今回の大雨はその時の状況に近く、対策本部の設置や避難勧告の発令は、15年前の教訓を生かし早めの対応ができた。

問 消防団のなり手不足が深刻。

村長 7月に消防委員会を開催。団員の処遇改善について協議し、方向性としては報酬を引き上げる必要があるということと一致した。消防団に対する住民の意識改善を図れるよう、消防委員会や消防団幹部と対話を重ね検討を進める。南部小の浸水にも消防署や消防団が出動した。火災よりも

自然災害が増える。

問 SDGs農業は緑を増やし、地球温暖化防止に貢献している。農業共済事業の補助を、村でも実施しては。

村長 近年の予想を超える自然災害や、新型コロナウイルス感染症のようなリスクを伴証する収入保険の加入促進の支援は必要。検討を進めていく。



農業の多面的機能が村を守る(8/29信毎新聞広告)

営業休止中の大芝荘の再開は



原 源 次



11月をめどに再建委員会で公表（村長）

問 現在コロナウィルス感染が進行しつつある未就学児・小学生に対する具体的な予防体制は。

教育長 予防接種法的には登園時の検温、給食時向き合わない対策など。デルタ株流行で全国的に小さな子どもに感染が広がっている中、リスクを減らすことを目的に登園自粛の協力をお願いしている。

村長 保育園は、厚労省のガイドラインを基に行っている。具体的には登園時の検温、給食時向き合わない対策など。デルタ株流行で全国的に小さな子どもに感染が広がっている中、リスクを減らすことを目的に登園自粛の協力をお願いしている。

問 全国的に小さな子どもに感染が広がっている中、リスクを減らすことを目的に登園自粛の協力をお願いしている。

村長 全国的に医療がひっ迫し8月20日に医療非常事態宣言が発出された。伊那保健所管内では、9月9日現在入院18名となっている。最近県内の感染状況や病床使用率の状況により、県独自の医療警報に切り替わった。伊那中病の医療体制は20床増設を検討した。感染力の強い変異株が現れ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期に及んでいる。基本的な感染防止が重要である。

子どもの命と健康を守るために家庭・保育園、学校との連絡連携が求められている。

問 中央病院を中心とした医療体制の状況は。

村長 全国的に医療がひっ迫し8月20日に医療非常事態宣言が発出された。伊那保健所管内では、9月9日現在入院18名となっている。最近県内の感染状況や病床使用率の状況により、県独自の医療警報に切り替わった。伊那中病の医療体制は20床増設を検討した。感染力の強い変異株が現れ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期に及んでいる。基本的な感染防止が重要である。

大泉川上流砂防工事

問 大雨による道路防災工事は。

村長 山の中の道路は、定期的に道路パトロールを行い状況を確認する。小規模な被害箇所は維持管理の中で、速やかな対応を基本とする。近年多発している豪雨や台風等により路面洗掘、路肩決壊や倒木等の被害を受けることが多くなっている。

問 滝沢地内に堤防の設置は。

村長 この沢の水は生活・農業用水として歴史がある。S50年代、県治山事業として斜面に簡易土留めやふとん籠が設置された。豪雨被害を受けて現地の状態を確認し、砂防堤防など構造物について一部破損や老朽化が見られる箇所がある。関係地区とも連携して治山

事業として要望している。

大芝荘について

問 基本的な考えはあるか。

村長 コロナ禍等により経営悪化で営業休止の大芝荘は、再建委員会で検討して11月をめどに公表していく。

問 営業再開は。

村長 そのまま再開すると宿泊、飲食業となり、コロナ感染症の影響をもろに受ける。まだまだ検討段階である。

問 再開に向けて利用者には優しい施設運営は。

村長 優しい施設、コンセプトが今後必要、大芝の将来ビジョンにおいて今後示していく意向。これを活用できる組織、人材の確保が最優先。



一つの密でも避けましょう（厚労省HP）



三澤 澄子

GIGAスクール構想と 子どもの育ちは



子どものいのちに光が当たる 学びを進める(教育長)

問 コロナ感染症第5波はレベル4に下がったが行事の中止など引き続きの対策は続く。ワクチン接種の状況は。受験生への集中接種を。

村長 9月10日時点で2回目51・7%まで済んだ。11月の早い段階で希望者接種を終了予定。学生接種は大芝の接種時間を金曜日夜間、土曜日午後に設定したので予約枠で接種を。11月以降は接種できなかつた人や新たに12歳になった人への対応のみに切り替わる。

問 検査で感染拡大を防ぐことは重要。検査体制は充実したか。医療、介護は定期的に、必要な人にはいつでもどこでも何度でも検査を。

村長 身近な医療機関でPCR・抗原検査

ができる。民間事業所の自主検査への補助もある。他県との往来時は早期発見プログラム(県事業)で600人分の簡易キットを使えるので利用を。

問 県内でも入院、宿泊療養と同じくらいの自宅療養、調整中の現状がある。必ず医療につながる体制を。

村長 宿泊療養は医師はオンコールで、看護師は常駐。自宅療養は健康観察センターから速やかに医療につなげる。

問 新たな変異株も出て第6波の心配も。活動再開の見通しと引き続きの支援が必要では。

村長 ワクチンは重症化予防の効果もあり、治療薬の話も出てきている。経済支援対策は、慎重に検討していく。

生活困窮世帯への支援は、8月に対象者に通知を送付した。

防災についての課題

問 避難所開設時コロナ対応での課題は。福祉避難所への個別テント、簡易ベット等備品整備を。福祉避難所の避難確保計画を。各区整ったWi・Fi設

備を使った防災、減災の学習、訓練を。

村長 コロナ禍では避難所収容人数は約半分になる。知人、親戚宅も選択肢に。今回は広域避難所として、保健センターと村民体育館を開設した。Wi・Fiを使った訓練は実施していく。ハザードマップの確認や啓発は

続ける。

GIGAスクール構想と子どもの育ち

問 一人一台のタブレットがいじめに使われた報道が。子どもの個人情報保護を。使い方等の支援を。不登校生徒には端末活用で学習参加のきっかけにつながる。先行利用は。「主人公はICTではなく子ども」の取り組みを。

教育長 パスワードやIDを別にして個人情報保護はされている。不登校生徒はさまざまな場所で見つけている。道具としてどう使うか、教員と子どももスキルアップ研修をしていく。子どものいのちに光が当たっていないければ子どもを追い詰める。主体的、体験的深い学びが基本だと思う。



タブレットで学習(南箕輪小学校)

誰でも安心して 避難できる備えを



保美 沼 笹



必要な備えや配慮を検討していく（村長）

問 避難者受け入れの際に記入する避難者カードについて、配慮が必要な人の情報をわかりやすく記入できるよう改善しては。

村長 避難者受け入れ時に住所や家族人数分の氏名など、必要最低限の情報のみ記入して、避難後少し落ち着いてから残りの部分を記入する流れを想定している。しかし実際には、その流れがスタッフ等全員の共通認識となっていない。記入項目や記入方法など、見やすさ、わかりやすさも含めて改善したい。

問 アレルギー対応

村長 現在の備蓄食料はアレルギーに完全に配慮したものにはなっていない。次の調達の際には配慮したい。また、専門的にアレルギー対応食品を扱う企業や団体との災害時協定、避難所でのアレルギー対応の研修が必要では。

問 食品の備蓄、アレルギー対応食品を扱う企業や団体との災害時協定、避難所でのアレルギー対応の研修が必要では。

村長 栄養士会災害支援チーム）が被災者や要配慮者への巡回栄養・食生活相談や指導を行う他、アレルギー対応食品・母乳の代わりになるもの・高齢者向け食品の提供も受けられることになっている。本村の栄養士1名がこの「JDAIDAT」のメンバーとして活躍しており、有事の際には頼っていききたい。アレルギー対応の研修についても、自主防災会・赤十字奉仕団・防災士と連携を図って、実施に向けて検討したい。

問 粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応

村長 災害時には国からプッシュ型の支援物資として液体ミルクや哺乳瓶が届けられるしくみになっているが、発災後数日で届くことを考えると、それまでの間のために備蓄をしておく必要がある。消費期限は短い、ローリングストック方式など確立できれば可能。専門家の意見も聞いて導入を進めたい。

問 災害時支援用バンダナを作成し、視覚障がい・聴覚障がい・見た目ではわかりにくい障がいを持つ、支援が必要な人に無償配布しては。

村長 避難所などで障がい者や難病患者に対して情報が届きにくく、支援から取り残されることが課題となっている。情報を届きやすくする1つの手段としては有効であると考えるので、無償配布ではなく、避難所開設時の備品の中に配備する形で研究を進めたい。

問 個別避難計画の

村長 避難所などで早期作成のために、次年度予算をどのように計上するか。

村長 個別避難計画作成は非常に労力がかかる作業。今の職員体制では無理なので、ケアマネージャーや相談支援専門員への委託など外部の力を借りて、必要な体制構築を進める。予算計上は落ちがないよう検討していく。

災害時支援用バンダナ作成例

<大阪市住吉区>



バンダナのデザイン



バンダナ着用の例



山崎 文直

村西部地域の水害対策は



計画的に進めていきたい(村長)

問

七月十三日南部

地域の局地的な豪雨により、南部小校内に浸水する被害が発生した。消防団、教職員、地域の協力で早い対応ができ、地域力の大切さが示された。南部小浸水対策費用が補正予算に盛り込まれているが、学校以外の状況も考慮して設計する必要がある。

教育長

梅雨前線等の影響で一時間18ミリ以上の雨により、南部小は1階の普通教室、多目的ホール、廊下等が床上浸水し大きな被害が出た。用務員・教員等でまず消防署に通報。それから消防団、教員等に連絡。翌日はボランティア20名ほどの協力があり、清掃・消毒を行った。一日休校したことは申し訳なかった。翌日土のう袋、

溝堀などの応急処置を行った。原因は乾燥続きのところに集中豪雨があり水が吸収しきれなかった。H8年学校開校以来数回の増築を重ねたが、排水機能が十分になされていなかった。今後も予想されるため、雨水排水の調査、排水経路の見直しなどを行い、安心安全な環境づくりに努める。西側農地からの流入対策も合わせて進める。

西部開発地域の農道防災対策

問

西天竜以西の地域ではS47年から伊那西部土地改良事業が行われた。経過の中で農地の区画整理ができず、農道整備を先行して実施されてきた。そのため排水のための側溝が

ない道路がある。現在は宅地化が進み排水が心配な地域がある。計画的な排水対策を望む。

村長

近年地球温暖化なので災害の発生頻度が増加している。特に南原区においては宅



排水対策が望まれる西部地区農道

を行った。その結果に基づきR3年度に南原区で側溝などの工事を実施している。今後も地区の要望も聞きながら計画的に進めていく。

高齢者避難対策の方針は

問

高齢者の避難時には多くの人員が必要になる。介護事業所などとの連携は。

村長

ケアマネジャーや介護事業所、障がい福祉事業所の専門職は、要支援者の介護状況や障がい程度について、気になる人の情報を寄せていただきたい。具体化するのが個別避難計画になる。自主防災会は連絡会を行っている。役員はできるだけ複数年で引き継ぎがうまくできるようにお願いしている。

一般質問のその後

定例会で「検討」および「実施する」と答弁した項目の処理状況報告

	質問者・内容	答 弁 内 容	その後の対応
R3年3月定例会	■三澤 澄子 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、公衆衛生の要である保健所の体制強化を県に求めるとともに、村内の人員体制の強化も必要では。	保健所の充実、国・県へ町村会として常に要望している。村のマンパワーも必要で、ワクチン接種について1人増やす予定。	村のマンパワーについては令和3年4月1日付で1名、4月15日付で1名（兼務）を増員した。接種会場やワクチン配送、ウェブ予約相談等の業務を全庁体制で行っている。
	■三澤 澄子 高校再編で上伊那農業高校はどうなるか。村としての要望も出していくべきでは。	2次案では4校を再編し、3学科の総合技術高校になる。地元になくてもならない高校なので、今後行われる懇話会で村として要望を上げるべきところは上げていく。	上伊那農業高校を含む「再編・整備計画（2次）」について、6月30日に住民説明会が行われたところで、懇話会はまだ実施されていない。懇話会以外では、まだ要望を上げる段階ではないと考えている。
R3年6月定例会	■原 源 次 県外との往来を行う若者を対象に感染症検査費用を補助しては。	若者回帰の事業を支援する取り組みは、積極的に行っていきたい。	7月に県外との往来をする学生を対象に補助金交付要綱を制定し、7月から9月までの間、検査費用の一部（上限1万円）を補助している。9月3日までに24件の申請があった。
	■笹沼 美保 こども館の利用について、食事可能な時間と場所を設定して昼の閉館をなくしては。	利用できない時間や食事ができないといった措置は適切であるとは考えていない。運用方法を変更していきたい。	こども館では、健全育成の観点から、基本的な生活習慣を身につけてもらうため、正午には一旦帰宅して昼食をとるよう声かけをしているが、昼食をとっている場合は正午から13時までの間でも入館を可とした。アレルギーを持っている方の利用があるため、館内では水分補給以外の飲食をご遠慮いただいている。

村民の声を聴く会

令和4年2月4日（金）午後7時～村民センター

「大芝高原」「福祉」「防災」の3つの分科会形式で行います。詳細は後日、ホームページ等でお知らせします。みなさんのご参加をお待ちしております。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期・中止となる場合があります。



◆床上浸水の南部小を視察◆



南部小学校災害視察

7月13日夜の豪雨で床上浸水した南部小学校の、被害状況や応急処置を確認するため、16日に視察を行った。清水教育長、教育委員会職員、島尻校長から災害発生時のようすや対応について説明を受け、浸水した校舎内や土のうを積んだ現場、仮設の排水路などを検証した。

今回の浸水被害で、校舎内の清掃・消毒のために1日休校しなければならず、今後このような事態にならないよう、抜本的な対策のために行政と協力していきたい。

教育関係者との懇談会

―福祉教育常任委員会―

令和3年8月24日村民センターで、福祉教育常任委員会と教育関係者との懇談会を開催した。『小中学校ICTの進捗状況について』をテーマとして、村内小中学校の校長・教頭、教育委員会から説明を受け、意見交換を行った。

ことだった。未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、子どもたちの心身の健康と学びを守るために、今回の懇談会での意見交換を活かしていきたい。

児童生徒に1人1台配備されたタブレット端末を活用し、カメラ機能を使って観察記録を作成するなど授業に活かすようすや、効果的な活用に向けて教職員も工夫や研究をしている状況を聞くことができた。新型コロナウイルスの感染状況によつてはタブレット端末持ち帰りに対応する必要があるため、各家庭のWi-Fi環境の準備を進めるとともに、タブレット端末使用時のルール作りや情報モラル教育も重要であり、携帯電話やスマホの使い方も合わせて子どもたちと学ぶ機会を持ちたいとの



教育関係者との懇談会

インタビュー項目

- | | | |
|--------------------|-----------------------------|---------------|
| ①競技を始めたきっかけは？ | ⑤今までその競技をしている中で印象に残っていることは？ | ⑧好きな音楽・アーティスト |
| ②競技の魅力は？ | ⑥将来どんな自分になりたい？ | ⑨好きな食べ物・好きなもの |
| ③その競技をしていて苦労したことは？ | ⑦座右の銘（大切にしていること） | ⑩苦手な食べ物・苦手なもの |
| ④インターハイを振り返っての感想は？ | | |

陸上競技 女子やり投げ

くら た さ ゆ か
倉田 紗優加さん（伊那北2年、久保在住）

- ①小学6年の時、母に勧められて。
- ②練習量と結果が単なる比例関係ではないところ。
- ③ホームシックになる合宿があること。指導者が少ないので機会を大切にしたい。
- ④自己ベストではなく悔しい気持ちがすごく強い。来年は優勝したい。
- ⑤記録が伸びた時には、それまでの努力が実を結んだと思った。中3ジュニアオリンピック（ジャベリック）で日本新記録を出した時も。
- ⑥たくさんの人たちに支えられ指導していただいたので、次世代の選手育成など恩返しができるような自分になりたい。
- ⑦“無理だ、無謀だとみんなが言うことに立ち向かう。血のにじむような圧倒的努力で。”（見城徹）
- ⑧ゆず：『ヒカレ』、テンションが上がる曲
- ⑨やり投げ
- ⑩クモ



陸上競技 男子棒高跳び

ある が げん た
有賀 玄太さん（高遠3年、南殿在住）

- ①中学2年の頃、陸上部顧問に勧められて。
- ②普段の生活の中であれだけの高さを跳ぶことはなく、人間離れなところが魅力。
- ③速く走るための走カトレーニングが一番苦労した。毎年のようにケガをしたことも大変だった。
- ④強い人ばかりで差もつけられたが、貴重な体験ができ楽しめて良かった。
- ⑤ベストの高さを跳んで「越えた！！」という景色が見える瞬間！！
- ⑥スタントマンになりたい！棒高跳びでつらかった経験も生かして頑張りたい！
- ⑦“努力に勝る天才なし”
- ⑧山口百恵さん
- ⑨イチゴ
- ⑩ナス



きらきら村の仲間たち

7月下旬から8月下旬に北信越5県を中心に開催された、全国高校総体（インターハイ）に出場した4人の元気な高校生を紹介します。

フェンシング

男子団体フルーレ、
男子個人フルーレ、男子個人サーブル

ほ しな こう さく
保 科 幸 作さん（伊那北2年、田畑在住）

①小学1年の時にわくわく
クラブの紹介を見てカッコイイ
と思って始めた。
本格的にのめりこんだのは、
2012年ロンドンオリンピックで
日本男子団体の決勝戦を見てから。



- ②動きが早く繊細で、ダイナミックで面白い。
頭脳プレーによる一瞬のかけ引きも魅力。
- ③電気を使う競技なので、道具の扱いに気を
使うところ。
- ④初めてのインターハイを思いきり楽しめた。
負けた時は悔しかったので、来年もっと頑
張りたい。
- ⑤ロンドンオリンピックの決勝戦がとても印象
に残っていて、今でも動画を観る。
- ⑥オリンピックに出て、メダルを獲りたい。
- ⑦練習から試合まで楽しんでやる。フェンシ
ングは大きく負けていても逆転できる競技な
ので、最後まで絶対にあきらめないことを大
切にしている。
- ⑧聴いてみて気に入れば何でも
- ⑨ジャガイモ
- ⑩虫

フェンシング

女子団体フルーレ、女子個人エペ

かま くら り ほ
鎌 倉 里 帆さん（伊那北3年、田畑在住）

①兄がフェンシング部に所
属。その楽しそうな姿に
憧れて高校1年から始め
た。



- ②頭を使ってプレーして、
思った通りにかけ引きが
できた時の嬉しさ。
- ③腰を痛めて思うように練習ができなかった
こと。
- ④個人エペで目標だった予選突破を果たし
トーナメントに出られたことと、団体戦は3
年生最後の試合で、いつも以上に団結して
最終日まで残れたことが嬉しかった。
- ⑤今まで大会の経験がなかったのに、最後
の大会で勝ち上がることができたこと。
- ⑥部活に打ち込んだ分、勉強にもしっかり
打ち込んで、地域創造の大学に進学し、地
域づくりに関する学びを深めたい。
- ⑦つらい時でも声を出したり笑顔になるこ
とで、自分や周りの人のモチベーションを
上げられるように意識している。
- ⑧いろいろな時代やジャンルの曲
- ⑨野菜全般
- ⑩甘いもの

議会だよりモニターの声

議会だよりモニターのみなさんから誌面や議会に対するご意見などを掲載しています。
いただいたお声を参考に、改善・リニューアルなどを進めていきます。

134号誌面に対するご感想・ご意見

- 見やすくまよいと思います。新しい議員や村長のインタビューなど、議会だよりで特別なコーナーなど作ってははどうでしょうか？
- 限られた誌面で難しいとは思いますが、子ども向けの「議会とは」というページがあると良いと思う。政治に興味・関心を持つことは大切であるので、親子で議会を学べることも必要では。
- 立派な議会だよりだと思います。ただ私のように年老いた者にとっては、紙面を見るのは楽しみですが、それと議長のあいさつの中のデジタル化の方向とは相入れ合うのでしょうか。そもそも世の中のデジタル化オンライン化はどうも…。

- まとまっていて読みやすい。高齢化社会のデジタル支援が取り上げられていたが、今後デジタルでの配信も加え、アーカイブ化(既にあつたらすみません)になっていくと良い。
- 一般質問では各議員により、今後の村について現状と対応をどうしていくのか、質問として読みやすくわかりやすくなっている。今後も村の問題点発掘に期待します。
- 議会だよりモニターをお受けした時に比べ、充実してきましたと思います。私の意見はあまり役立っていないかもしれませんが、これからもモニターを通じてお役に立ちたいと思います。可能なら永年でモニターしたいです。やりがいがあります。
- 『きらきら村の仲間たち』のページが読みにくい。もっとすっきり、色ももっと少なく。若い方の取り組みに期待したい。

その他、議会や村に対するご意見など

- 村体の駐車場が狭く、使いにくいと思います。子どもたちが使うことを考慮して、送迎時に車を止めやすいよう庭(石や木)を撤去して広くしたら、利用者も駐車しやすくなるのでは。
- 村長が交代されたことも関係しているとは思いますが、議員たちのプッシュも効いて、コロナワクチン接種のスピードが急激にアップしたと思います。感謝!! 関連して、村内の飲食店関連のお店は大変な状況だと思います。支援金等、議員の力で援助を推進していただきたい。
- 大芝荘での集団ワクチン接種。職員の対応が大変良かったです。国や県からの指示や、目まぐるしく変わる状況の中で大変と思うが、若年層の接種を、キャンセル待ち登録の推進や、空き状況の素早い把握伝達で、スピーディーに進めてほしい。
- 村長には若さと行動力、斬新なアイデアを期待しています。改革すべきは実行力をもって推進してください。しかし、私のような高齢者も一定数住んでいます。体力的に動けない者、高齢者の立場、変化に追いついていけない者との調整を願います。

- 『学習支援はオンラインが整っていない』とあるが、コロナ休校から1年以上が経つのに、対応が遅いのではないかと。しっかりと期限を設けて実施できる体制整備を。家庭と学校、園との連絡システムについて、保護者の意見を聞きながら進めてほしい。
- 村長は前議員、議会もやりにくいと想像していましたが、その心配はありませんでした。しっかり村政について議会のチェック機能、議会からの提案をぶつけて、今後も議会に期待したいと思います。質問・答弁にはできるだけ日本語を使って、お年寄りにも理解できる答弁を希望します。SDGs、私も日本語で持続化なんとか言われてもわかりませんが、今世界に広まった世界で通じる日本語「もったいない」でいいと思います。
- 大雨・洪水など、避難指示が出たが、公民館だけでは入りきれない。コロナ禍ではもっと対策を考えないと、安心して避難所を使えない。友人が公民館には行ったが、「とても疲れた、エコノミー症候群になった。」と嘆いていた。数時間の滞在でも、ダンボールベッドやソファに代わるものがないと、身体が休めないのでは。



編集 後記

議会だよりを通して
私たち議員の活動を少しでも多くのみなさんに知っていただくとうとう、より親しみやすく読みやすい誌面を目指して頑張っています。モニターさんたちのご協力も得ながら、議員を身近に感じていただける議会だよりにしていきたいです。

今号で5回目の『きらきら村の仲間たち』のコーナーは、堅いイメージの議会だよりを柔らかい雰囲気にくるくるコーナーで、モニターさんからも好評です。インタビューや原稿作成にご協力いただいたみなさんに心より感謝申し上げます。次号もどうぞお楽しみに!

編集委員
笹沼 美保